

令和4年第2回北海道議会定例会 冒頭先議 開催状況（経済部労働政策局産業人材課）

開催年月日 令和4年6月14日
 質問者 日本共産党 真下 紀子 議員
 答弁者 知事

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>四 道外人材確保緊急支援事業費について</p> <p>(一) 正規雇用への支援について (真下議員) 人手不足が深刻な業種への短期就労を行う場合に就労者と道内企業を対象に「人材確保支援費」約1億946万円が計上されています。ところが、事業期間は3ヶ月と極めて短期であり、非正規雇用のみが支援の対象です。正規雇用や、より安定した雇用に対して助成しないのはなぜか。 常勤雇用を行った企業と労働者に対して、より支援費を上積みする制度設計とし、より安定した雇用機会の創出に資するべきではありませんか。見解を伺います。</p> <p>(二) 支援費の支給認定について (真下議員) 支給認定の対象となる道内事業所について、一部事業の中には同一の事業であっても株式会社や社会福祉法人、医療法人など様々な法人形態があります。同一事業であっても法人形態の違いによって、人材確保支援費の対象から除外されることがないように、公平な制度設計が必要と考えます。知事の見解を伺います。</p> <p>(真下議員) 道外人材確保緊急支援事業費の支給認定対象は検討中との答弁でしたが、公平性の検討を改めて強く求めておきます。加えて道外からの人材確保のためには、最低賃金を引き上げることが必須だと言うことも申し添えておきます。</p>	<p>(知事) 道外人材確保緊急支援事業費に関し、人材確保への取組についてであります。人口減少や少子高齢化により、人手不足が深刻化する中において、今後、経済回復が見込まれることから、人手不足が事業の制約とならないよう、この度、夏の繁忙期に道内事業所が、道外在住者を短期雇用した場合、双方に奨励金等を支給することにより、緊急的な人材確保を支援する予算を提案したところであります。 道としては、これまで、人材誘致や定着支援、人手不足業種への労働移動の促進など、正規雇用に向けた各種の事業を実施してきており、引き続き、さまざまな施策を活用しながら、道内事業者の皆様の人材確保・定着を支援してまいります。</p> <p>(知事) 道内事業者の方々への支援についてであります。今後、全国的な経済回復が見込まれることから、道としては、この度提案した予算が、この夏場の人手不足が深刻となる道内事業者の方々の人材確保に向けた緊急的な支援となるよう、対象とする要件を検討しているところでございます。</p>